

日本獣医生命科学大学国際化ビジョン

平成26年7月17日制定

ア 学内の国際化（外国人教員・外国人留学生の受入、受入れに伴う環境整備）

1. 国際化時代に対応したキャンパスの構築

キャンパス内の表示に英文表記を常設するとともに、複数の言語による大学案内や事務書類を常備し、国際化時代への適応を推進する。

2. 留学生および外国人研究者の受入れ拡大

3年後を目処に、留学生および外国人研究者の受入れ人数を現状の1.5倍まで拡大する。

イ 学生の海外留学の促進

1. 学生の海外派遣の拡大

3年を目処に現状の2倍の本学学生を海外へ派遣することを目指し、国際学会参加・語学研修・短期海外実習・海外での学位取得を目的とした留学を含めて海外派遣を促進する。

ウ 外国語教育の充実

国際的な活動に対応できる力を養成するための教育環境・内容・方法等の充実

1. 英語学習 eラーニングシステムやビデオ会議システムなどを導入し学習環境を充実させ、教員によるきめ細かな学習支援により、自律的な学習者を育成する。

2. 学習成果の測定に検定試験の受験を促進し、各学生のスコア向上を図る。3年を目処にTOEIC600点以上の得点者数を約2倍にする。

エ 海外大学等との連携

1. 海外協定校との連携強化

環境や文化的背景が異なる海外協定校との交流を通じ、多様性に富んだ研究・教育を推進するとともに、国際社会で評価される人材を育成する。

2. 国境の無いカリキュラムの運用

短期集中・少人数制で英語を基盤としたゼミや実習を運用し、海外からの留学生が日本人学生と共に学びながら互いを高め合える環境を提供する。